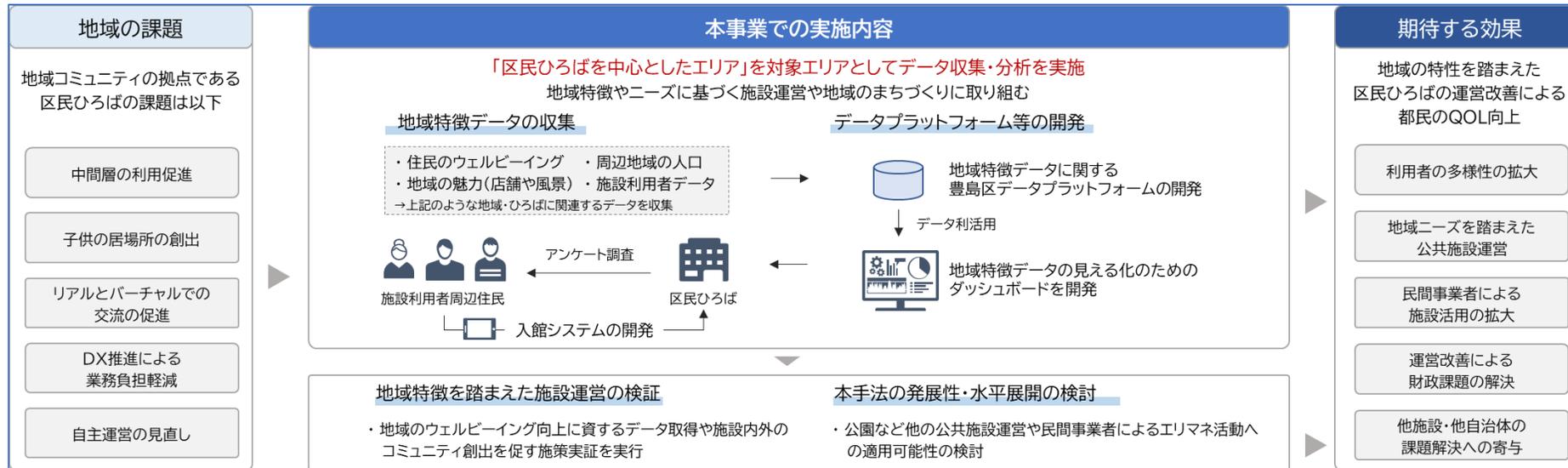


事業概要

地域住民のコミュニティや地域特性などウェルビーイングに関するデータを収集・分析し、区民ひろばの運用改善やまちづくりに取り組み、エリアの特徴を活かした地域コミュニティの活性化を図ることを目的とし、データ分析を通じた区民ひろばの在り方の検討を効果的に進めるためのデータプラットフォームの開発、データに基づく運営手法の実証及び施設利用状況を把握し業務効率化を実現する入館システムの開発を実施した。

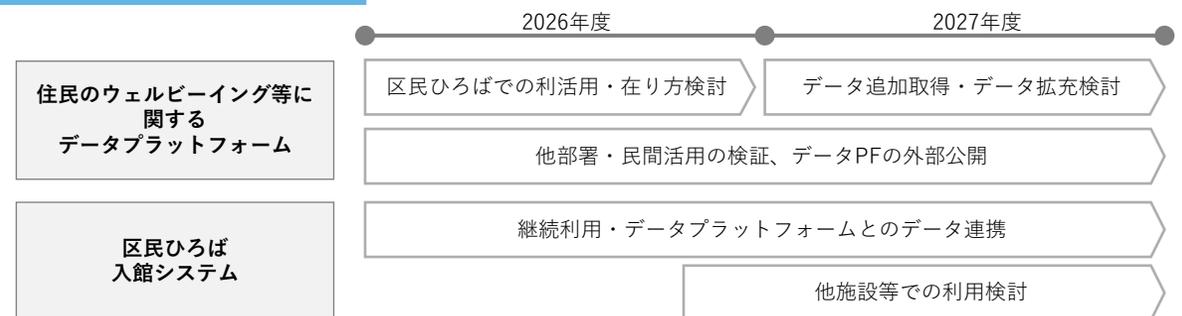
取組内容



実施体制



今後のスケジュール



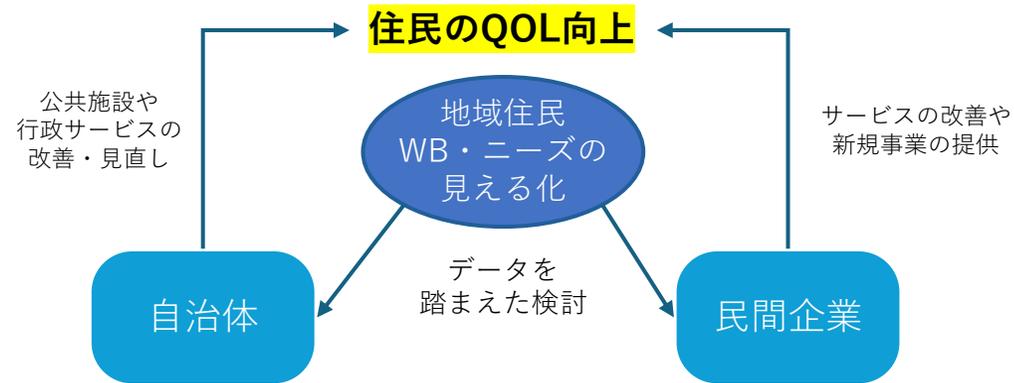
横展開の可能性

地域住民に対してサービスを提供する自治体・民間事業者

地域住民のウェルビーイング（WB）やニーズはその地域の特徴によって異なり、社会の課題や環境の変化に応じて適切なサービスを提供することが求められる。

地域の活性化を目指す自治体や新たに民間事業者の誘致等を通じてまちづくりを行う商店街等の事業者が、今後の在り方や取組の方向性を検討する際に、住民のニーズや考え方を把握した上で取り組むことは地域価値の向上に寄与するものであり、様々な自治体や民間事業者で活用されることが期待される。

地域ニーズの把握を通じた事業展開への活用



豊島区の近隣自治体

本事業において取得したデータは、主に豊島区の区民ひろばを利用する区民等を中心としたものであるが、地域住民の生活圏は居住する行政区に限定されるものではない。

入館システムなどの仕組みは近隣の自治体とも共通のサービスとして様々な施設に導入され、利用状況などのデータが共通基盤として自治体間で共有されることで、住民の生活圏を意識した広域でサービス提供を行うことが可能であり、地域住民の暮らしを中心として、利用地域の拡大が期待される。

地域住民の生活圏に対応した連携・展開

